

4 番	松原 大介 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
<p>1. 瀬戸市国際未来教育特区計画で掲げた目標は達成されるのか</p> <p><b>【質問趣旨】</b></p> <p>本市では、地域産業の活性化、次代を担う人材育成、公有資産マネジメントの推進の3点における課題解決に資することが大いにあるものと判断されるため、構造改革特別区域計画の認定申請を行い、認定を得ました。</p> <p>本計画では、これらの課題解決のため、4点の目標を掲げていることから、その目標達成に向けて、前提条件の整理や、計画と進めていく実務は整合性がとれているか、進捗管理・評価検証はどのように行っていくのか確認していくものです。</p>	<p>(1) 第一の目標「市立本山中学校跡地の活用」について</p>	<p>① 本計画は、『地域住民の期待やコンセンサスに基づいた用途によって活用されることを実現するものである。そのため、本計画の第一の目標は、市立中学校跡地が株式会社の運営する小・中学校によって活用されること、そのもの。』と記述しております。地域住民の期待やコンセンサスに基づいた用途であることを、第一の目標の前提条件とした理由について伺います。</p> <p>② 令和2年3月定例会一般質問での答弁のなかで、「優先交渉権者の提案内容を御報告したところ、協議会（道泉地区協議会）の方々からは提案をよろしいんじゃないかというような評価をする声が多く聞かれたことから、計画書のとおり記述したものでございます。」とありますが、評価をする声はいつどのように確認したのか伺います。</p> <p>③ 本計画は、『市立本山中学校跡地の単なる活用にとどまることなく、全国の学校跡地活用の参考事例となり、さらには、全国的な規制改革の参照事例となることを目標とする。』と記述しております。この目標達成による本市への影響を伺います。</p> <p>④ 『これによる経済的社会的効果として、同じ学校として活用されることによって、住民が安心感をもって日常生活を送れる。』とありますが、この効果発現のために何を行い、どのように効果を測定するのか伺います。</p>

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

4 番	松原 大介 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
	(2) 第二の目標「地域の活性化」について	<p>① 地域の活性化についての経済的社会的効果として、様々挙げられているなかで、前提条件として、2027年には児童・生徒740名が通学するとありますが、第49回の特区申請時では、2025年には児童・生徒840名という数字でした。大幅なマイナス補正をした理由と、その内訳を伺います。</p> <p>② 同じく、2027年には児童・生徒740名とありますが、1クラス26名の学年毎3クラス編成、初年度の3年生のみ2クラスのため、計算すると2027年では、676人となるはずですが、この数字の誤差は何か伺います。</p> <p>③ 『当校は、社会貢献を主眼とした無料イベントの開催を予定していることから、これらの生涯学習を提供するのに必要な公的負担が軽減されるという財政的効果が得られる。』とありますが、実現に至るまでのフローはどのようなか伺います。</p> <p>④ 第二の目標「地域の活性化」の達成へ向けて、どのように進捗管理・評価検証を行っていくのか、示された数字に対しての進捗管理は行うのか伺います。</p>

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。  
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。  
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

4 番	松原 大介 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
	(3) 第三の目標「瀬戸市の教育への貢献」について	<p>① 本計画は、学校設置会社と相模原市にある LCA 国際小学校を運営する株式会社エデュレエルシーエーが提携することが、前提条件となっています。プロポーザル時点では、LCA 国際小学校の姉妹校、株式会社エデュレエルシーエーは協力法人としていましたが、具体的に姉妹校として何を行い、協力法人として何を協力するのか伺います。</p> <p>② 現時点では、LCA 国際学園グループの瀬戸 SOLAN 小学校としていますが、LCA 国際学園グループという組織は存在するのか伺います。</p> <p>③ 『当校の英語教育指導課程は、LCA 国際小学校と同様とする。』とありますが、どのように両校の英語教育指導課程が同様であると確認するのか伺います。</p> <p>④ 市立小中学校に派遣されている ALT システムとの連携や、「東京英語村 TGG」をモデルとした英語イマージョン教育の体験施設機能の提供は、いつからどのように行う予定なのか伺います。</p> <p>⑤ 『当校が、市立小・中学校教職員の“研修拠点”として機能するよう連携がなされることにより、本市教育委員会における指導体制の充実を、現実的な効果として得ることが可能となる。』とありますが、いつからどのように行う予定なのか伺います。</p> <p>⑥ 第三の目標「瀬戸市の教育への貢献」の達成へ向けて、どのように進捗管理・評価検証を行っていくのか伺います。</p>

( 3 ページ)

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

4 番	松原 大介 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
	<p>(4) 第四の目標「進学先選択肢の多様化」について</p> <p>(5) 目標達成のための計画と、進めていく実務は、整合性がとれているか</p>	<p>① 当校は、すでに株式会社立での学校運営ではなく、学校法人化を目指しておりますが、このことについての本市の見解を伺います。</p> <p>② 学校法人化を実現するための現状の課題はどのようなか、本市の見解を伺います。</p> <p>③ 学校法人化が実現した場合、瀬戸市国際未来教育特区にどのような影響があるのか、何か計画に変更が生じるのか伺います。</p> <p>① 第49回特区申請時は、プリスクールと小学校を令和3年4月開校予定としていましたが、第50回特区申請時にプリスクールについては、令和8年4月に後ろ倒しになっています。その理由について伺います。</p> <p>② 令和7年には中学校、令和8年にはプリスクールが開園される予定ですが、プリスクールの年少・年中・年長、小学校6学年×3クラス、中学校3学年×3クラス、単純計算で普通教室スペースだけでも、30室必要です。現況の校舎スペースでは物理的に不可能と感じますが、初期の工事ですべて用意できるのか伺います。</p> <p>③ 本計画は、特区で掲げた4つの目標を達成することで、本市の3つの課題（地域産業の活性化・次代を担う人材育成・公有資産マネジメントの推進）の解決に資するとありますが、本市は、どのように本計画としての進捗管理・評価検証を行うのか伺います。</p>

( 4 ページ)

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

4 番	松原 大介 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
<p>2. 5箇所の小学校跡地の将来活用の決め方について</p> <p><b>【質問趣旨】</b>  小中7校の学校統廃合により跡地が発生し、5箇所の小学校跡地(祖母懐・東明・古瀬戸・深川・道泉)については、将来活用方法を各地区協議会と協議を始めているところがあります。  将来活用方法を決めていくフローチャートはすでに示されておりますが、それに沿った形のなかにおいてでも、幅広い世代の意見を集めること、5つの連区で合意形成を図る過程は必要と考え、提案するものです。</p>	<p>(1) 5箇所の小学校跡地の将来活用についての現況</p> <p>(2) 5つの連区が1つの学区としてまとまっていくために</p>	<p>① 5箇所の小学校跡地活用については、各地区協議会を地域の窓口として進めていますが、各地区協議会での進捗状況について、コロナ禍による影響を含め、どのようなか伺います。</p> <p>② 今後のスケジュールについて、コロナ禍による影響を含め、どのようなか伺います。</p> <p>① 各地区協議会は、平成29年から設置され、小中一貫校に係る議論を交わしてきました。行政側がそれぞれの地区協議会と協議を重ねる形式で行われることで、各地区の個別の事情を汲み取ることはできましたが、その一方、他の地区協議会でどのような話し合いが進んでいるのか、わかりにくかった側面があったと考えますが、見解を伺います。</p> <p>② 現在、5つの地区協議会が集まる場はあるのか伺います。</p> <p>③ 小学校跡地活用は、瀬戸市公共施設等総合管理計画において、「地域コミュニティの拠点へと進化」と記述していることから、各地域との調整・合意形成は必須です。また、全市的な観点や、瀬戸東部地区、特に5連区のなかで、どこをどのように位置付け、どのような機能が必要かは、大切な観点と考えます。それらは、各々の連区だけで話していただくだけでなく、1つの学区となった今、少なくとも5連区全体で合意形成を図りながら進めて行く必要性を感じます。つまり、5つの連区がそれぞれの事情を定期的に共有し、相互理解をしながら合意形成を作っていくプロセスは、これから1つの学区としてまとまっていくためにも有効なプロセスと考えますが、見解を伺います。</p>

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。  
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。  
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

4 番	松原 大介 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
	(3) 幅広い世代の意見を集めるために	<p>① 小学校跡地活用方法を決めていくなかで、子どもから大人まで幅広い年代の方々に対し、情報を提供し、意見や想いを集め、理解を求めていくことは重要と考えますが、見解を伺います。</p> <p>② 5つの地区協議会すべてが、地域の若い世代も含めた、情報提供、意見聴取、意見交換、意見集約、議論と調整、合意形成の場となっているかと言えば、必ずしもそうとは言えないのが現状です。そのなかで現実的に、行政が市民と共に、小学校跡地活用の課題解決をするためには、行政側が地域内の合意形成方法について、積極的に助言やアイデアの提供を行いながら、合理的かつ建設的な合意形成を図る手段を共に構築すべきかと考えますが、見解を伺います。</p>

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。  
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。  
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。